



# からしだね

2015年  
2月号 (502号)

キリストの受難  
カトリック池田教会

共同宣教司牧：畠 基幸神父・松本 一宏神父  
協力司祭：デニス・マックゴワン神父  
住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26  
TEL：072-751-2400 FAX：072-753-4624  
URL(ホームページ)：  
[http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic\\_ikeda/](http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/)



ひさい  
三重県津市 久居教会

巻頭言 .....	2	ガラスケースの言葉 .....	2
宝塚黙想の家から .....	3	典礼委員会から .....	3
編集後記 .....	3		

表紙写真 撮影：米花 裕子

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です  
完全版をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください

## 巻頭言

## りんごかもしれない

松本 一宏神父

『りんごかもしれない』という絵本をご存知でしょうか。ヨシタケシンスケさんという方が描かれたものです。評判になっていた作品のようですが、私は割と最近になってこの絵本の存在を耳にして知る事となりました。子どもにとっても興味深い話の展開ですし、かわいらしい絵で描かれているので単純に楽しめるのですが、大人が読むとまた違った角度からより深い何かに気付かされます。

お話の内容はとてもシンプルです。ある日、家に帰るとテーブルの上にはりんごが置いてありました。「でも、もしかしたらこれはりんごじゃないのかもしれない。」と思い始めた所からどんどんとイメージーションが膨らんで行きます。反対側はミカンかもしれない、実は何かのたまごかもしれない、心があるのかもしれない、どこから来て、そしてこれからどうなるのか、これを食べたならどんな事が起きるのか……。思わず笑ってしまうほど発想が実に愉快なので詳しくはぜひ読んでいただきたいのですが、とにかくあらゆる方向へ主人公の少年は想像をかきたてて行きます。

子どもらしい無邪気な空想と言ってしまうえばそれまでですが、「……かもしれない」という想像力は、子ども時代のそれをなくした大人にとってとても大切な視点を与えてくれます。歳を重ねるに連れて、見えるものだけ、自分の内にあるものだけに捉われて、それ以外の可能性に思いを馳せるのが難しくなります。特に、様々な価値観が主張される今の時代において、本物の対話をしながら歩んで行くためには、あらゆる可能性を考える力が必要になってきます。

しばしば、「こうに違いない」「こちらの考え方が正しい」と決めつけて人とあるいは物事と向き合う事が多いのではないのでしょうか。無意識の内にそうしている事もあるかもしれません。いろいろな意見を持つ事は良い事ですし、異なった価値観が真に融合するとき、いっそう豊かになります。それは、「そうでないかもしれない可能性」をそれぞれが持っている時に実現します。でなければ本当に話し合う事、互いに耳を傾ける事はできません。教会が、社会が、世界が共同体として豊かに成長し成熟しようとするならば、「……かもしれない」と考える力がひとつの鍵のように思えます。

先日、食後に出されたりんごが水平方向に薄くスライスされていました。芯の際まで無駄無くおいしく食べる事ができるので最近はこのような食べ方も多いのだそう。初めてそのような切り方を見て「りんごかもしれない」と思えなかった私の想像力はまだまだのようです。皆さんの想像力・発想力はいかがでしょうか。

## 2月のガラスケースの言葉

自分自身を愛するように

隣人を愛しなさい

レビ記 19 の18



## 宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

### ■ 日帰り黙想会

2月19日(木) 10:00~15:30 指導：山内十束神父

2月20日(金) 10:00~15:30 指導：山内十束神父



費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで。 ☎0797(84)3111

## 典礼委員会から

- 灰の水曜日（2月18日）のために昨年の受難の主日（枝の主日）にいただいた枝を集めます。  
期間 2月1日（日）～2月15日（日）聖堂入口に置く箱に入れて下さい。
- 灰の水曜日2月18日のミサは19:00です。
- 十字架の道行 2月20日（金）～4月3日（金）の毎週金曜日 10:00・18:30  
（4月3日は聖金曜日のため 10:00 のみです。）

## 編集後記

編集を長年担当して下さっていた方が去り、残った者で何とか途切れることなく、からしだねを作っていこう、と決意したわたしたちでしたが、作成する段階で、思わぬハプニングや失敗が発生し、なんでやねん！ とか、ありえへん！ と悲鳴を上げたり、がっくりと落ち込んでしまったりいたします。でも、イエス様のお力を借りれば何でもできる（フィリピの使徒への手紙4：13）と信じ、笑顔を絶やさずに、よりよいものを目指して努力を続けていきたいと思っております。まずは意気込みが大切ですね。

ソフィー

